

広島修道大学教職課程教育の目的・目標（2026年度生用）

広島修道大学の教職課程教育においては、教職課程履修学生一人ひとりが「地球的視野を持って、地域社会の発展に貢献できる教育実践者」となることができるよう、以下のような教育者の育成を目標とします。

1. 知識・技能

- ・ 教育に関する幅広い知識と技能の修得をとおして、家庭・学校・地域の相互の関連を多面的に理解し、基礎的な教育実践力が身に付いた教育者。

2. 思考力・判断力・表現力

- ・ 大学と地域間の連携をとおした理論と実践の往還による教育実践の中で、自ら課題を発見し、課題の解決に取り組み、その成果を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力を持った教育者。

3. 協創力

- ・ 教育を取り巻く地域社会のニーズや変化を理解し、自ら教育実践に主体性をもって継続的かつ柔軟に取り組むとともに、多様な人々と「協力して価値を創造」（「協創」）し、学びあう態度が身に付いた教育者。
- ・ 地域社会との密接な交流をとおして、生涯にわたって研究と修養に励むことができる個性的・自律的な教育者。